

**教科目標**

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

1学期 主な学習内容（13時間）	2学期 主な学習内容（15時間）	3学期 主な学習内容（7時間）
絵や彫刻等 ・鉛筆で描く「デッサン」（2時間） ・「空想画を描く」（6時間）  デザインや工芸等 ・単純化・強調で情報を整理するひと目で伝わるみんなのデザイン（2時間） ・色彩の特徴を深く知る（2時間）  鑑賞 ・日本美術と世界の美術の歩み（1時間）	絵や彫刻等 ・躍動感を表す（6時間） 「瞬間の美しさを形に」  デザインや工芸等 ・つくる・使う・材料を味わう工芸（6時間）  鑑賞 ・浮世絵っておもしろい（1時間） ・日本文化との出会い（1時間）	絵や彫刻等 ・「写真表現の魅力」（1時間）  デザインや工芸等 ・日本の技と心を受け継いで（4時間）  鑑賞 ・日本美術と世界の美術の歩みⅢ（1時間） ・日本の伝統工芸（1時間）

**評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）**

	評価の観点（1学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	・単純化・強調で情報を整理するひと目で伝わるみんなのデザイン  形や色彩などの性質及びそれらの効果や、具体物や行為を表す造形的な特徴などを基に、多様な視点から伝達するイメージで捉えることを理解している。	[全教科共通] ・定期テスト  【各教科の方法・資料】 ・実技作品 ・提出物 ・鑑賞プリント ・	・定期テストは授業で学んだ用語や技法について問う内容を中心に、定着度を評価する。 ・美術の専門用語に関する説明を正しく記述できるか問う問題を中心に、理解度を図る  実技作品はA、B○、B、B△、Cで評価する。 A 絵具の混色とはみ出さずに着色することができる。 B○絵具の混色と大体はみださずに着色することができる。 B 絵具の混色とはみ出さずに着色しようとしている。 B△絵具の混色が足りずはみ出して着色している。 C 絵具の混色ができていない、はみ出して着色している。
II 思考・判断・表現	・単純化・強調で情報を整理するひと目で伝わるみんなのデザイン  伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、形や色彩が感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	[全教科共通] ・定期テスト  【各教科の方法・資料】 ・実技作品 ・提出物	・定期テストは授業で習ったことを活用し、答えを見いだすことができるか。 ・美術のよさや美しさを文章でまとめて表現できるか。  実技作品はA、B○、B、B△、Cで評価する。 A デザインの形と色彩をよく工夫し、美しい構成を表現している。 B○デザインの形と色彩を工夫し、美しい構成を表現している。 B デザインの形と色彩を考えて、構成を表現している。 B△デザインの形と色彩をあまり考えずに表現しようとしている。 C デザインの形と色彩が合っていない。
III 主体的に学習に取り組む態度	・単純化・強調で情報を整理するひと目で伝わるみんなのデザイン  美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にひと目で伝わるデザインの構想を練り、意図に応じて創意工夫し、見通しを持って自ら進んで学習活動に取り組もうとしている。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価  【各教科の方法・資料】 ・実技作品 ・提出物 ・授業での様子 ・自己評価	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。  【各教科 独自の方法】 実技作品はA、B○、B、B△、Cで評価する。 A 自ら進んで、毎回造形活動に取り組み工夫と調整をしている。 B○自ら進んで、毎回造形活動に取り組み工夫をしている。 B 自ら進んで、毎回造形活動に取り組んでいる。 B△毎回造形活動に取り組もうとしている。 C 毎回造形活動にあまり取り組んでいない。